

輪之内町報

第七拾参第

発行所 国枝 敬二
発行所 輪之内町役場
大垣市高屋町
印刷所 川瀬印刷 K K

役場たより

戸籍係から

婚姻(五月二十一日から六月二十日まで)

里 夫 木全 進 妻 近藤 志ま

海松新田 妻 牧野 幹子 夫 南部 豊

里 妻 近藤かづゑ 夫 田辺 信義

海松新田 夫 黒田 恭一 妻 磯村多津子

榆 妻 片野 喜子 夫 鈴木 益雄

下大樽新田 妻 三宅 芳子 夫 河合 万蔵

榆 夫 棚橋 欽一 妻 西脇 豊子

下大樽 夫 伊藤 昭次 妻 相羽 弘子

下大樽 夫 伊藤 正義 妻 倉田志げ子

大 妻 渡辺 祐子 夫 浅野 邦雄

大 妻 浅野マサエ 夫 藤村 一

榆 妻 国島ひろを 夫 児島 保

四 妻 中島たづ子 夫 志村 武男

塩 妻 喰 夫 長崎かづゑ

福池新田 夫 山田 稔 妻 近藤サトコ

中 妻 朝倉はつゑ 夫 安井 哲夫

大 妻 増田 道子 夫 山谷 正重

大 妻 西松 和夫 夫 大石勢津子

下大樽 妻 森 房子 夫 川合 竹夫

死亡(五月二十一日から二十才以上) 二名

中郷新田 浅野とせ(六) 南波 加納ふな(〇)

福東新田 野々垣つがの(五五) 里 浅野ハズエ(六)

塩喰 松岡ふさ(八)

計 五名

出生件数 二十件 死亡件数 八件

計量器(ます・はかり等)の定期検査実施

一、日時及び場所

八月十日 午前十時より午後三時まで

福東小学校 仁木小学校

全 十二日 全 大数小学校

全 十三日 全

一、実施要綱は八月号に登載する

学校たより

輪之内中学校から

○夜未だ明けやらぬ早朝より、夕方は輝く星をいただき、冷風に送られて疲れた体をわが家にと、町の皆様、日夜御苦勞さまでした。取入れと植付

けの農繁期もやっと一息、残る始末や畑の手入れと、まだ御多忙のことと存じます。ますます酷暑にむかうおり、御健康に御注意ください、御精勵の程御祈り申し上げます。

○七月の生活目標

生徒たちも梅雨期の悪気候にまげず、それぞれ自分の立場をよく考え、農繁の御手伝いに活躍したことを喜こんでおります。しかし、それだけに、身心ともに疲勞の度も大きいことと推察致します。

『えらかったね。よくがんばってくれたね』このひとことは、どれだけ子供たちをなぐさめ、また、これからの仕事や勉學のはげみの素因となることでしょうか。

○まず健康

七月に入り、寒暖計の水銀柱はますます上昇をたどるばかりです。疲勞の快復と同時に、酷暑にまげず、悪条件に打ちかつ強く、たくましい身体を積極的につくる好機と考え、なにかと御注意下ると同時に、はげましてやって下さい。本校の生徒会においては、『まず健康』を合言葉として、おたがいに注意しあってゆくことと致しました。

○一学期は、これでよかったか。希望を持って計画をたて、新学期に進んだのはつい先日のようなのですが、一学期もはや終りに近づきました。

//さて今日までのわたくしの歩みはどうだったか。

◆七月の主な行事

- 二日 郡算数テスト五年実施
- 一日 研究会三ノ一、一ノ一
- 二日 学級育友会
- 五日 本校国算テスト全校
- 八日 研究会一ノ二
- 二〇日 育友会役員会
- 二七日 第一期終業式

仁木小学校から

七月の生活課題

◎おちついてべんきょうしよう

心の持ちかたで楽しくも苦しくもなるこの七月は、さらに、校舎改築のための教室移動等によって、子供たちの心も動揺すること、思います。

四月以来こうしたことを予想して、学力、教材の進度等にも気を配り、わたくしどもは努力してまいりましたが、学習は、毎日のつみ重ねが大切であることを思うとき、教室や環境の不自由さを克服して、きまりよい学習をさせたいと願っております。

また、七月は長い夏休みの橋渡しの月なので、自主的な生活の仕方の指導に力を入れていきたいと思っております。

具体的な指導目標として

- 一人だちでしっかり勉強しよう。
- みんな仲よく遊ぼう。
- 自分で計画をたて、進もう。
- 早ね、早おきをしよう。
- 水泳にきをつけよう。

この五つの指導の重点として、家庭の皆様と一

つ心になって進めて行きたいと願っております。

◎病気の治療について 保健委員会
校医検診の結果、治療を要する者は、各御家庭に通知しましたが、夏休みは治療のよい機会でありますので、専門医に御相談下さいますように御願ひ致します。

○トラコーマ
眼の悪い児童が全校で五七名おりますが、大半の者が希望によって学校で治療にあたっておりますが、夏休みは、学校では不可能でありますので、ぜひつづけて医師に治療を受けられるよう御願ひ致します。

また、学校で治療致して居りましても、時折、専門医にみてもらうことが大切であります。眼の治療は、相当長期間かかりますので、根気強く御願ひします。

○扁桃腺肥大
全校で、一〇四名もおりますが、根気がなくなつたとか、学習が嫌いになったといった微候のある児童は、治療されるよと思ひます。これも一応専門医と御相談下さって、治療していたくのがよいと思ひます。

○その他の病気
心気九進 二四 タムシ 一八
温 疹 六 心臓弁膜症 三
外聴道炎(耳漏) 三
その他の順になっております。

七月の行事予定
二日 火 算数テスト 五年
一日 木 貯 金 日
八日 木 仁木こども協議会
一日 金 育友会例会
二五日 木 こども会研究会
二七日 土 第一期終業式

大藪小学校から

七月生活指導計画

忙しかった農繁も過ぎ去り、農家の皆さんはほっとされたことと存じます。これから暑い夏がやってくる参ります。農繁に追われて、児童は学習も忘れがちであったため、一学期の終りをむかえ勉強に馬力を出して取りかえさねばなりません。そのためは、勉強の予定をしっかり立てて、計画的な勉強をせねばなりません。

また、夏の暑さのため、食欲もおちがちで、恐しい伝染病とも戦わねばなりません。規律正しい生活、適度の運動と休養、すいみん時間等、健康に留意せねばなりません。

こんな意味で、学習にも健康にも、規律正しい生活が要求され、計画を立てることが必要となってきます。来月はいよいよ夏休みにはいります、よい夏休みの暮らしをするためにも、今月計画の目標を立て、一日の生活、一月の学習の計画を立て、しっかり生活することが夏休みの生活計画を立てる準備となるのだと存じます。

七月『計画』

1. 一日の生活の計画を立てる。
2. 勉強の時間を正しく定める。
3. 早寝、早起き。
4. 規則正しい生活をする。
5. 自分の事は自分でする。
6. ねびえをしないよう注意する。
7. 水泳の注意を守る。
8. 夏休みの計画を立てる。

- 七月の行事
- 二日 郡校長会―大藪
 - 九日 学力テスト
 - 一〇日 貯金(低)
 - 一六日 母子会連絡会
 - 一九日 育友会例会 貯金
 - 二二日 部会
 - 二三日 議会
 - 二七日 音楽会 終業式

公民館たより

◎図書について

今は農繁のさいちゆうで、なか／＼読書どころではありますまいが、次のような書籍を買い入れました。皆さん大いに利用して下さい(括弧内は編著者)

- △原子力問答十二講(豊田利幸) △懐しのメロデー(小松耕輔) △いかに生きるか(杉田直樹)
- △憲法(宮沢俊義) △世界の名作(鮎川昌彦) △日本女性史(井上清) △座談の泉(植原路郎) △歴史の見かた(和歌森太郎) △若き女性のために

(天野貞祐) △体の中を風が吹く(佐多福子) △四十八歳の抵抗(石川達三) △〇隨筆(岡部寛之) △明日へのしるべ(国府田守登) △雑居家族(壺井栄) △法廷夜話(野村正男) △あなたの生活と健康(杉靖三郎) △愛のかたみ(田宮虎彦等) △植山節考(深沢七郎) △虎になった人間(尾上柴舟) △白い杖(佐藤親雄) △大転秘録(花見達二) △お邪魔します(鹿島孝二) △天才の発見(式場隆三郎) △ゆき(森田たま) △家庭料理野菜篇(沢崎梅子) △挽歌(原田康子) △山の動物たち(戸川幸夫) △私の先生(山田忍三) △弁当のオカズ・夕食のオカズ(堤すみれ) 外五十餘冊

◎中村竹次郎先生の講演
左記の通り、中村竹次郎先生の講演をお願いしてあります。各地区婦人会員は勿論、一般の方々も御来聴を待っております。

記

- 七月八日 午前九時 福東公民館
- 午後三時 仁木公民館
- 全 夜 八時 大藪公民館

(註) 中村竹次郎先生は彦根市在住の社会教育に熱心なお方で、以前に当町へ来ていたゞいたことがあるので、おなじみの方が多いはずです。

青年団たより

体育部から

(一) 野球大会
去る四月二十八、二十九の両日輪之内町青年団野

球大会を中学校々庭において開く。各分団とも日頃の力を十分發揮され、二日間にわたる大会は盛会のうちに終った。成績は次の通りである。
優勝第二分団。二位第八分団。三位第五分団

(二) 卓球大会

五月十三日中学校講堂で、本団主催の卓球大会を開催、各分団とも日夜熱心に練習された日頃の腕前を十分發揮せられ、白熱的な試合が展開せられ無事に終了した。此の成績は次の通りである。

- 分団 優勝第四分団。二位第七分団。三位第一分団
- 個人戦
- 男子優勝 大橋 進 女子優勝 棚橋 桐江
 - 二位 衣斐 政一 二位 長谷川敦子
 - 三位 辻村 三郎 三位 片山ふみ子
 - 入選 清水 武 入選 西脇すみ子
 - 篠田 博美 朝倉 文江
 - 田中嘉年夫 木村 郁子

柔道部から

(一) 柔道大会
輪之内町青年団柔道大会は、五月十二日輪之内中学校で、熱と意気にもえた若人があつまり、日頃たんれんした腕と技を發揮したのである。成績は次の通りである。

- 個人 一位 伊藤 義宣 二位 服部真次郎
- 三位 高橋 伝儀
- 勝抜 右の三君を除いて
- 一位 棚橋 秀夫 二位 寺倉 政良
 - 三位 中島国次